

**ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
細流仕上げ
施工の手引き**

平成19年5月25日【初版】

**アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ**

<使用材料>

| 材 料 | 商 品 名 | 概 要 | 荷 姿 | 標準施工面積 |
|------|--|--------------------------|---------|----------|
| シーラー | ジヨリハットシーラー JS-500 | 水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー | 18kg石油缶 | 約51.4㎡/缶 |
| 主 材 | ジヨリハット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字) | アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材 | 20kg缶 | 約 8㎡/缶 |

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ
- ・ダスター刷毛または左官刷毛

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード（プラスターボード）又はモルタルとする。

<細流仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

| | | |
|-------|-----------------------|------|
| 配 合 | JS-500 | 18kg |
| | 清 水 | 18ℓ |
| 塗 布 量 | 0.07kg/m ² | |
| 施工方法 | ローラー刷毛又はスプレーガン | |

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ジョリパット不燃を無希釈で0.8kg/m²となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

| | | |
|-------|------------------------------|-----|
| 配 合 | JQ-200シーズ | 無希釈 |
| 塗 布 量 | 約1.5kg/m ² | |
| 施工道具 | ステンレスゴテ ステンレスゴテで材料を均一に配る。 | |

追かけ塗り（5分以内）

4. パターン付け

- ・ジョリパット不燃が乾燥しないうちにダスター刷毛又は左官刷毛にて横方向に模様をつける。(図-1)
- ・ダスター刷毛や左官刷毛に付着したジョリパット不燃は、その都度、きれいに洗浄する。

<施工のポイント>

- ・ ダスター刷毛は、パターン付けする方向に45°程度傾けてパターン付けを行う。
- ・ 細かくパターン付けを行うことにより、パターンのジョイント部分が目立ちにくくすることができます。

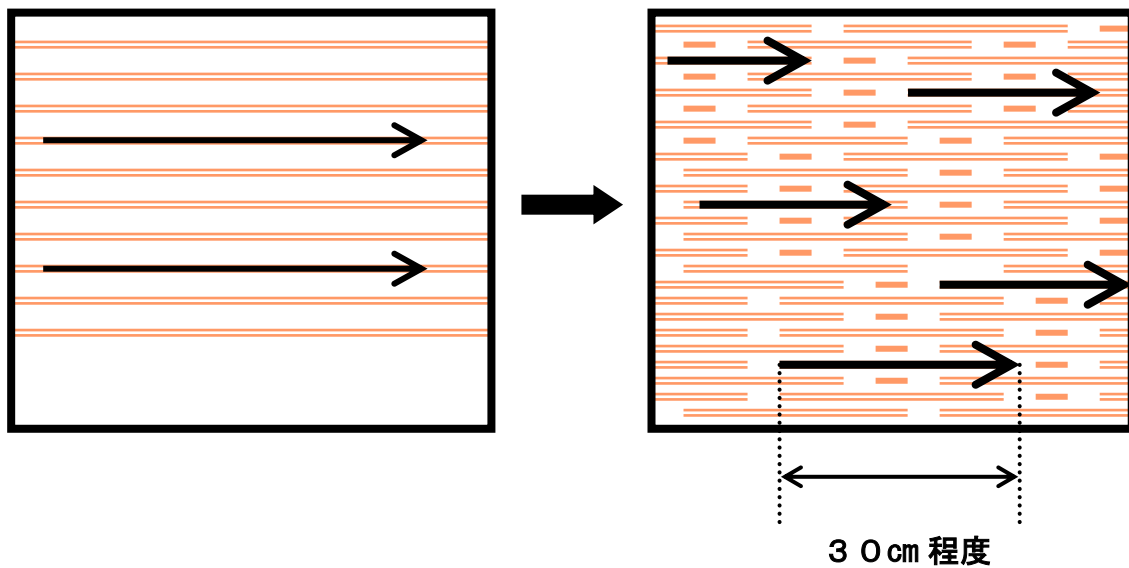
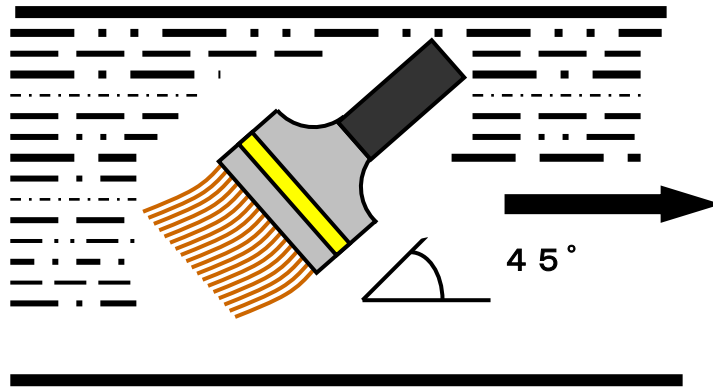
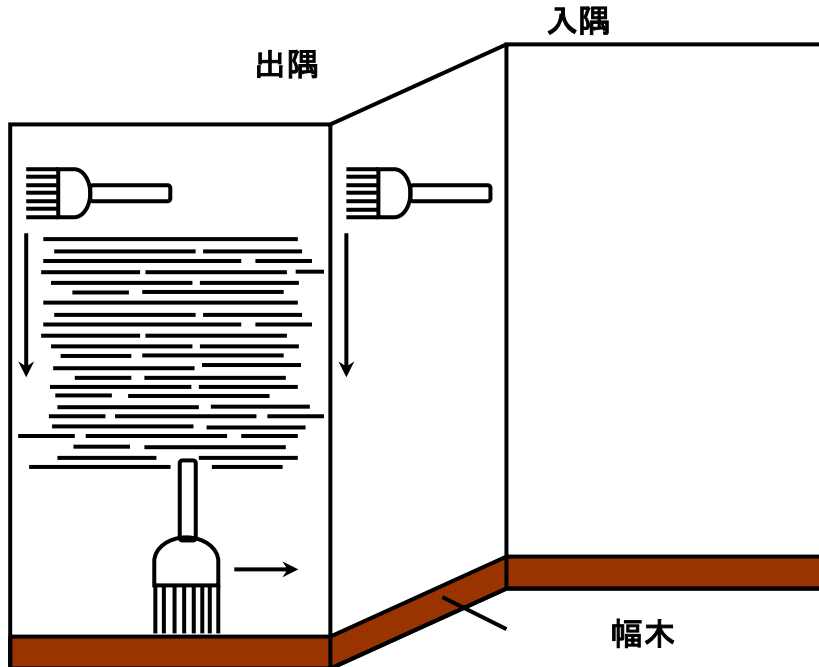


図-1

○入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図-2）



刷毛で押さえる工法
図-2

<施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ パターン付けする際、ラインが蛇行したり斜めになったりしないよう注意して下さい。
- ・ ダスター刷毛に付着したジョリパット不燃は常に除去して下さい。（刷毛の毛先が束になると、模様が汚くなります。毛先は、常にバラバラになるよう注意して下さい。）
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパット不燃が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以上